

式辞

今年は校庭の桜の開花が早く、季節はすでに楠の若葉へと移り変わろうとしています。新しい生命の息吹きみなぎる季節を迎えたこの佳き日に、ご来賓として、

PTA会長 宮沢 秀樹（ひでき）様、

同窓会会長 狩野 浩志（ひろし）様、

ならびに大勢の保護者の皆様にご臨席をいただく中で、令和5年度群馬県立前橋南高等学校第48回入学式を挙行できますことは、前橋南高等学校として、この上ない喜びであります。本校を代表し、心より御礼申し上げます。

ただ今、本校への入学を許可された200名の新入生の皆さん、入学おめでとうございませう。皆さんの入学を心から歓迎します。また、保護者の皆様、本日はご子息・ご息女のご入学、誠におめでとうございませう。これまでのご苦勞に敬意を表しますとともに、改めてお祝いを申し上げます。

コロナ禍もようやく落ち着きを見せ、式典の簡素化や出席者の限定も緩やかとなり、コロナ禍前の状態に近い入学式となりました。それでもご家族2名までの参加としましたので、この日を心待ちにいらしたにもかかわらず出席がかなわず、寂しい思いをされた方々には、大変申し訳ない気持ちでいっぱいです。家に帰りましたら、本日の入学式の様子を是非、皆さんにお伝えいただけたら幸いです。

さて、新入生の皆さん。皆さんはただ今から前南の生徒です。本日の初心を忘れることなく、自身の将来の目標に向かって、努力を積み重ねてもらいたいと思います。前南での第一歩を踏み出すにあたり、3つのことを要望します。

一つは、「よき習慣を身につける」ということです。よき習慣の一つとして、次の言葉を贈ります。「時を守り、場を清め、礼を正す」という言葉です。時を守るとは、遅刻をしない、学習時間を確保するなど。場を清めるとは、きちんと掃除をする、整理整頓をするなど。礼を正すとは、服装をきちんとする、挨拶をするなどです。

「時を守り。場を清め、礼を正す」という社会生活の基本がきちんと出来るように、良き習慣となるように日々努力してください。

二つ目は、「思いやりをもつ」ことです。他人を思いやることは、自分を見つめ直すことになります。思いやりにより、お互いに助け合う友達の輪ができます。そして思いやりは行動のエネルギーにもなります。思いやる・思われる、何でも話し合える友達を見つけてください。友達は何にも代え難い一生の宝となります。

三つ目は、「やればできる」という自信をつけてください。そのためには、学習・部活・委員会などに積極的に参加することです。難しい問題の解決に向かって、はじめて、様々な工夫や根気が養われます。解決に向かう中で本当の達成感を味わい、自分の良さを見つけることができ、生きていく上での自信につながります。是非とも、皆さん一人ひとりが、前南で輝いてください。

次に保護者の皆様。入学にあたり、学校として保護者の皆様にお願ひがあります。本日から、保護者の皆様と我々教職員は分担してご子女の教育にあたることとなります。そのためには保護者の皆様と我々教職員との信頼関係を基盤とした連携が必要です。「高校生として必要な望ましい習慣」を身につけることができますよう、ご家庭でのご指導をお願いいたします。先ずは、「あいさつ」から始めましょう。高校生と言っても注意力・判断力がまだまだ未熟です。良い習慣を身につけさせるには、ご家庭でのご指導が必要不可欠です。そしてさらに、本校の教育方針を御理解いただき、学校との緊密な連携をお願いいたします。ご家庭と学校が車の両輪となり、ご子女の成長を支援していきましょう。

結びになりますが、ご臨席の皆様には、今後も本校に対する一層のご支援、ご協力をお願い申し上げますとともに、本日入学した200名の新入生の皆さんの活躍を祈念し、式辞といたします。

令和5年4月10日

群馬県立前橋南高等学校

校長 関根 正弘